

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介

「グローバル化とワーク・ライフ・バランス促進」

2. 最新情報

《お知らせ》 1件

《地方公共団体等の動き》 14件

■□■1. 取組紹介



「グローバル化とワーク・ライフ・バランス促進」

■ワーク・ライフ・バランスに関連する会社の方針等のご紹介

当社は1963年、キャタピラー三菱として設立しましたが、2008年にキャタピラー・ジャパンに社名変更し、2012年にはCaterpillar社が単独所有する企業となりました。グローバル企業の完全な一員となったことで、上司や組織のメンバーが外国籍の方であることも珍しくなくなりました。たとえば、横浜本社の300人の社員のうち、40%は上司が海外となり、異なる文化、異なるタイムゾーンの人々と働く環境となり、社員の意識も大きく変わりました。

女性に焦点を当ててDiversity & Inclusionの取組を進めていますが、女性のみならずすべての従業員がその能力を十分に発揮して活躍する組織、働く場所として選ばれる会社とするため、仕事と家庭の両立支援制度、企業内保育所等の整備、テレワークの拡充等の働き続けやすい環境の整備を行っています。

■主な取組・制度の概要・特長

グローバル企業となったことで、一般社員も時差のある海外拠点と活発にやりとりすることになり、2012年から早朝・深夜に海外拠点との電話会議に参加する場合、自宅でのテレワークができるようにしました。同年、育児中の女性が働きやすいように、フレックスタイム制勤務をしている育児・介護中の社員に限り、テレワークを可能にしました。2018年からは製造現場以外の全員をテレワーク利用対象者とし、またフレックスタイム制もコアタイムを廃止することにより、フレキシブルに働ける環境を整備しました。

その他、D&Iの一環として従業員の意識を変える研修等も行っています。

■成果

グローバル化とD&Iの推進により、性別や年齢、経歴等の壁を越えたさまざまな考え方を

受け入れる環境となったことで、コミュニケーションが活発になり、多様な意見や経験が活かされるようになり、働き方についても多様なスタイルを受け入れる風土が醸成されてきました。

従業員へのテレワーク・フレックスタイム制に関するアンケート(2019年4月)によれば、テレワークを使用したことがある社員が59%、フレックスタイム制のコアタイムを廃止したことにメリットを感じている社員が69%となっており、多くの従業員がフレックスタイム制とテレワークによりフレキシブルな働き方を選択することが出来るようになったと考えています。COVID-19下におきまして、オフィスワーカーはテレワーク推奨となりましたが、風土、仕組み、システムともに準備ができていたため、違和感なく対応が進んでいます。

■利用・活用した社員の声

・以前は制度があっても使いにくかったけれども、海外から来た上司や同僚が家族との時間を大切に、フレキシブルな働き方をしている姿を見て、次第にフレキシブルな働き方を選択できるようになった(40代 男性)。

・テレワーク等育児中の女性が働きやすい環境を整備することで、女性社員がいきいきと働くことができ、社内の雰囲気も明るくなったと感じています(30代 女性)。

■会社情報

- ・会社名：キャタピラージャパン合同会社
- ・事業内容：製造業(建設機械の開発・製造・販売)
- ・本社所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
- ・社員数：1,476名

■□■ 2. 最新情報

《お知らせ》

【文部科学省】国立女性教育会館(NWEC:ヌエック)

「男女共同参画推進フォーラム」オンライン開催

→ NWECでは、8月27日(木)～9月26日(土)、令和2年度「男女共同参画推進フォーラム」をインターネット上に開設する特設サイトにて開催します。

毎夏NWECを会場として、男女共同参画に取り組む千数百名が全国から集まり、組織や分野を超えて活発な学習交流を深めてきたこのフォーラムですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン形式での開催とすることになりました。

テーマは「つなぐ、あらたな明日へ～女性も男性も共に暮らしやすい社会を創る～」。

動画配信やWEB会議システムを活用したディスカッションなど、オンライン開催ならではの趣向を凝らした多彩なワークショップ、パネル展示を予定しています。基調講演の講師には、

林陽子氏（前国連女性差別撤廃委員会委員長、弁護士）をお迎えし、各国に大きな影響を与えた第4回世界女性会議から今日まで25年の歩みを振り返りながら、いま私たちが取り組むべき課題は何かについて考えます。

最新情報は随時 NVEC ホームページに掲載していきますので、ぜひご覧ください。

https://www.nvec.jp/event/training/g_forum2020.html

お問合せ：国立女性教育会館事業課、TEL：0493-62-6724

《地方公共団体の動き》

【北海道】札幌市

札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業の紹介（2020年6月）

→「札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業」として登録された企業を紹介します。登録数：474企業（令和2年6月10日現在）

http://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/wlb_katsuyaku/kensaku/index.html

【北海道】函館市

函館市ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣事業（2020年6月）

→函館市では、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に配慮した職場環境づくりに取り組もうと考えている企業に対し、無料でワーク・ライフ・バランスアドバイザー（社会保険労務士）を派遣し、その取り組みが推進されるよう支援します。人材確保・生産性向上のため、「働き方改革」への取り組みをすすめてみませんか？

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2018091800087/>

【秋田県】

ワークライフバランス読本＜両立支援・女性活躍推進パンフレットを御活用ください＞（2020年6月）

→企業が「仕事と育児・家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」に向けて取り組むことは、企業・従業員それぞれにとって様々なプラス効果が期待できます。県では、男女ともに子育てしながら働きやすい職場づくりや、女性が活躍できる環境づくりを促進するため、企業が両立支援や女性の活躍推進に取り組むことのメリットや、各種表彰を受賞した企業の取組、国や県の支援制度などを紹介するパンフレットを作成しました。ワーク・ライフ・バランスに向けた取組の検討や各種支援制度の利用などに御活用ください。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/33372>

【福島県】

イクボス（経営者・管理職）出前講座を開催します！（2020年6月）

→福島県では、働き方改革を目指す経営者・管理職向けに、無料の出前講座を開催しています。講座内容は、イクボスの基本、社員を応援しよう、イクボス10箇条、働き方のシフトチェンジ、ワークとライフの相乗効果をだそう、などです。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011c/ikuboss.html>

【千葉県】我孫子市

我孫子市男女共同参画情報誌「生き方&働き方ダイバーシティ」（2020年5月）

→キャリアアップ、イクメン、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティマネジメント。企業などの組織で働くみなさんが最近よく耳にすることばではないでしょうか。「他はどうしているんだろう」と思ったら、ぜひご覧ください。これらのことに積極的に取り組み、全国的に評価を得ている組織の人々に取材しました。（2020年3月発行）

<https://www.city.abiko.chiba.jp/shisei/kyoudousankaku/leaflet2020.html>

【東京都】中央区

中央区ワーク・ライフ・バランス推進認定企業の募集をしています（2020年6月）

→中央区では、仕事と家庭の両立や男女がともに働きやすい職場の実現に向けてワーク・ライフ・バランスの取組を推進している企業等を「中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定します。

<https://www.city.chuo.lg.jp/kurasi/danzyokyodosanga/chuokuworklifebalance/worklifebalance.html>

【東京都】台東区

台東区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度（2020年6月）

→台東区では、仕事と生活を両立しながら、いきいきと働き続けられる職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスに取り組む中小企業等を「台東区ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、その取組を応援しています。

<https://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/jinken/habataki21/work/20160401WLB.html>

【東京都】足立区

「ワーク・ライフ・バランス準備企業」登録制度（2020年6月）

→足立区では、ワーク・ライフ・バランス推進認定企業になることを目指し、これからワーク・ライフ・バランスに取組もうとする企業を「ワーク・ライフ・バランス準備企業」として支援します。

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/sankaku/wlb-jyunbi.html>

【石川県】

「ワーママを楽しむ会」の参加者募集について（2020年6月）

→働きながら育児をしている母親や父親の不安を解消し、仕事と育児の両立を支援するため、両立の苦労や悩みを共有しながら問題解決を図る「ワーママを楽しむ会」を開催します。（参加費無料）※Web会議システム「Zoom」を使用し、オンラインで開催（第5回開催分を除く）

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kodomoseisaku/worklifebalance/20160510.html>

【長野県】 飯田市

飯田市男女共同参画計画令和元年度実施状況報告（2020年6月）

→第6次飯田市男女共同参画計画に基づく平成30年度実施状況報告をお知らせします。令和元年度は、第6次飯田市男女共同参画計画（ともに生きる いいだプラン）の2年度目として、計画に基づき取り組みました。第6次計画では、女性活躍の視点も取り入れ、「男性にとっての男女共同参画の推進」と「ワーク・ライフ・バランスの推進」を重点項目とし、それを下支えするものとして「仕事と子育て・介護の両立できる環境整備」を位置づけて取り組みました。

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/9/danjokyoudousankakureiwagannendojissijoukyouhoukoku.html>

【岐阜県】

「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」認定制度（2020年6月）

→県では、仕事と家庭の両立支援などに取り組む「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業」の中で、特に優良な取り組みや他社の模範となる独自の取り組みを行う企業を「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」として認定しています。※認定には、県の審査が必要です。（R2.4.1 現在 147 社認定）

令和2年度の認定申請の受付を開始します！【募集期間：6月8日（月）から8月7日（金）】

<https://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kekkon/work-life-balance/c11234/excellent.html>

【京都府】 宇治市

令和2年度 宇治市男女共同参画市民企画事業（サポート事業）を募集します（2020年6月）

→令和2年度 宇治市男女共同参画市民企画事業（サポート事業）を募集します。

<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/68/28697.html>

【兵庫県】

ワーク・ライフ・バランスのキャッチフレーズを募集（2020年6月）

→ひょうご仕事と生活センターでは、企業や団体が、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けた活動に幅広く取り組めるように、様々な支援を行っています。そこで、さらなる普及を図るため、県内企業でのワーク・ライフ・バランスの取組を促進するようなキャッチフレーズを募集します。入賞作品は、ひょうご仕事と生活センターの情報誌、カレンダー及びポスターなどに活用させていただきます。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr05/wlbcp.html>

【福岡県】 福岡市

ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業（2020年5月）

→「働き方改革」は、女性、高齢者等、誰もが働きがい、生きがいを感じる社会づくりへの鍵。福岡市では、市内企業の「働き方改革」の取組を応援するため、ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業を行っています。企業のみなさまが働き方改革を進める際の指標とし

で選定した「取組項目」のうち、一定数以上の項目を達成している企業を「ふくおか『働き方改革』推進企業」に認定します。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/keieishien/life/hatarakikata-nintei.html>

【編集後記】

梅雨に入り、道ばたの紫陽花も見頃を迎えようとしています。通勤電車も、緊急事態宣言前ほどではありませんが、徐々に人は増え、ようやく通常の学校生活も再開し、朝は子どもたちの元気な声が聞こえるようになりました。症状はなくてもマスクをし、スーパーもできるだけ少人数で買い物し、レジに並ぶ時にはソーシャルディスタンスを保って、レジ前に貼られたビニールシートも当たり前の光景になってきました。先の見えない「ウィズ コロナ」の生活はしばらく続きますが、こういう時だからこそ、仕事も生活も、離れていても近くにおいても「コミュニケーション」は大事にしたいと思う今日この頃です。

このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。

このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>